

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第 120 号>

## かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）  
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 F  
 TEL 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 4 2 FAX 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 9 4  
<http://www.kanagawa-iguren.com>

# 2012年11月号



### 【 今月のコンテンツ 】

- かながわ異グ連活動報告 関東大学の見学ツアーについて ..... 1、2
- オフィス架け橋【連載 10】行政書士 特定社会保険労務士 松田 健 ..... 2
- 企業経営者に話を聴く（第 9 回）  
     瀬戸建設株式会社株式会社 代表取締役社長 瀬戸 良幸氏 ..... 2、3
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 ..... 3、4
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）の報告（その 3） ..... 5
- 産学官交流サロンコーナー ..... 6
- 事務局コーナー ..... 6

### < かながわ異グ連活動報告 >

広報：宗和 正憲

かながわ異グ連の活動の一部をご紹介します。

#### 【 関東学院大学の見学ツアーについて・・・。】

これは学生が中小企業を訪問し、企業の代表者とひざを交えて話をしたり工場見学などを行うという企画です。これに参加した生徒達からは「中小企業に対する見方が変わった」。とか「出来ればこういうところに就職したい」という反応も見られるなど日本における中小企業の素晴らしさを実感したという生徒が多くいました。このような活動を続けてきた節目として今年の 8 月 7 日に関東学院大学で平成 24 年広域京浜地区の中小企業研究（製造業編）と題して行われた発表内容を抜粋し、ご報告します。発表者は、かながわ異グ連の芝専務理事です。

関東学院大学が過去 5 年間に行った社会連携調査についてご紹介します。

- 製造業の分類として①下請け比率が非常に高いタイプ、②取引先と共同研究・共同開発をやっているところ、③それから更に独自の研究開発をやっている。この 3 つに分けてみた。リーマンショック直後に、予想外に研究開発費が縮小してマーケットも縮小したことから、経営的に見てみると、下請け比率の高い方が、安定的な経営をやっていたということになり以外性がある。人材確保の点からいうと、中小企業が新しい技術開発の分野に出るというために、むしろ人材確保が必要だということ。したがっていくら研究開発テーマやアイデアがあってもそれを担当する人材がないという事がアキレス腱になる。中小企業の場合は新しい技術開発をやる為にも人材の確保というのは重要だということである。

- グローバル化という視点で考えると、すぐ外国に行くという事がグローバル化というふうに我々は思い込んでいた。ところが近年は、外国に行っても日本人が指導している現地企業と直接戦って、逆に言えば現地企業の技術の方が場合によっては高く、日本から進出する中小企業が勝てない場合がある。そういう場合、海外に進出する場合も、改めて本家本元の国内でやっている自分たちの本業の技術水準とかコスト、それが十分世界的に通用するのかもしれないのか、これをもう一度チェックしないで海外進出すると失敗する。
- 逆説的に言うと、グローバル化という現象は、我が国の中小企業に対して、外に出る・出ないが問題ではなくグローバル化という競争世界の中で、日本国内にいても十分通用する技術開発力、生産システムとかコストとか、それに迫られてくるということ。したがって、グローバル化に対して、国内で御社はどのような技術開発、コストダウン努力をしているか、そこの独自性があるから自社は国内に引き続いていられる。したがって大学から委託事業をうけているわけですけども、そういう視点からこのグローバル化に取り組みたいと考えている。

この様に活動を続けてきたわけですがこれも各企業様の協力があったことです。

現在、「関東学院大学グローバル化調査活動」としまして多くの企業様からの聞き取りを行っておりどの様なかたちでグローバル化に関わっておいでなのかをうかがっている最中です。

## 【 企業経営者に話を聴く】 (第9回)

< 異グ連スタッフ勉強会 >

瀬戸建設株式会社 代表取締役社長 瀬戸 良幸氏に話をうかがいました。

編集部 : 宗和

<http://www.setoken.co.jp/>

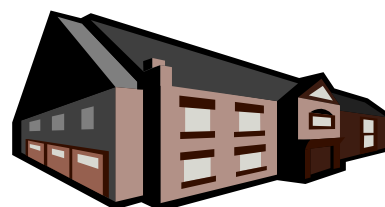
今回、ご紹介します瀬戸建設株式会社は明治40年3月創業（設立昭和30年6月）という長い歴史をお持ちの会社です。現在の代表取締役社長である瀬戸 良幸氏は創業2代目。従業員63名を抱え、小田原に本社を置く地域ナンバーワン企業を目指す企業です。「人にやさしい家づくり」が基本。業務内容は注文住宅から土地活用の一環で医療、介護、福祉施設、マンション、店舗などの建設提案から公共施設の施工、リフォームまで幅広く建設業務全般に携わっています。（詳細はホームページにてご確認ください）

元々住宅メーカーの下請けや公共土木工事などの仕事を中心としていましたがバブル崩壊後の競争の激化、売り上げ減少などに伴い方向転換しました。ちょうど2000年に「介護保険制度の導入」が決定したのを受け、医院+デイサービス+高齢者専用賃貸住宅の「在宅支援ハウス」を提案したのをきっかけに「介護・福祉施設」分野に進出し、今ではこれらが大きな柱となっています。

好景気の中で生じた甘い会社の体質と、受注を優先した売上重視の方向から脱出するため不採算事業を断ち切るといった決断をされました。まず、このために行ったことは幹部社員の教育。意識改革を行うため5年間毎日6:15出勤を義務化、原価管理システムをとり入れるなど事業収支を考える事からはじめたそうです。

10年前から見ると当時より社員が10名少ないにも関わらず売り上げは大幅アップしているそうです。今後の展望としては農業休耕地の有効活用、既存の保養所・寮・旅館などから介護施設へ・・・という提案、施設転用などの充実をお考えのようです。

瀬戸社長の話を伺っていると並々ならぬ決意で苦難を乗り越えられてきたのだということがひしひし伝わってきました。近年ではお客様相談室を設置したり、社外報の発行やISO9001の取得もし、きめ細かいアフターサービスを心がけておいでです。



## 【在宅支援ハウス】

賃貸共同住宅の中で介護施設や老人ホームと同等のサービスを提供する共同住宅のこと

今回は12月3日（月）アイコンテクノ（株）代表取締役会長 金子 和夫 氏 のお話（第10回）です。

今年から始まりました企業経営者に話を聞くというテーマも間もなく10回目を迎え、今年を終了です。今回は以前ご紹介しましたアイコンテクノ（株）会長の金子和夫氏に話を伺います。当日は自らが執筆された『「脱原発」本当にこれでいいのですか』についても言及されます。当日の聴講はスタッフ以外の方も自由参加としますのでよろしければご参加ください。

【 日 時 】 平成24年12月3日（月）16:00～ 約1時間程度

【 場 所 】 神奈川県中小企業センター 6F特別研修室

## 【 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 】

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

## ■視察研修会のご案内

毎回好評の視察研修会です。今回は食品分野という点では同じですが、全く異なる展開をしている埼玉県内の優良企業2社を視察いたします。秩父夜祭の宵宮見学も価値あり！

○日時 12月2日（日）～3日（月） 横浜駅前より貸切バスにて移動

○視察先・・・食品分野という点では同じですが、全く異なる展開をしている優良企業2社を視察

①サイボクハム <http://www.saiboku.co.jp/>

農業から流通へ、食文化の創造へ、さらに農業のディズニーランドをめざしたアメニティ農業へと時代とともに構想を描き、事業を転換・展開してきた経営について社長様からお話を伺います。

②ヤマキ醸造（ヤマキ御用蔵）<http://www.yamaki-co.com/>

味噌・醤油を天然の醸造法にて100年以上造り続けている企業原料の土づくりからこだわって安心・安全を追及しています。理解できる人に提供できればよいという販売スタイルですが、その経営理念を社員・スタッフと徹底して共有している取組も必見です。こちらも社長様から直接お話を伺います。

③その他の見学先 秩父夜祭 日本三大曳山祭りの一つの宵宮を見学

○宿泊先 奥秩父・赤谷温泉 小鹿荘 <http://www.ojikasou.co.jp/>

○料金 30,000円（バス代、1泊4食付、飲み物代、旅行保険込み）

## ■第3回新年ビジネス交流会

○日時 2013年1月19日（土）13時30分～

懇親会 17時15分～

○場所 かながわ労働プラザ

○定員 先着70名様

○参加費 3,000円（懇親会費込み）

事業プレゼン、商品展示、懇親会と大変有意義な交流会です。多数のご参加をおまちしております。

## ■異業種交流会シフト21とは

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せ・お申込みは有村まで。[arimura-c@nifty.com](mailto:arimura-c@nifty.com)

### <C&Sグループセミナーのご案内>

【主催】コンサルタント集団「C&Sグループ」(異グ連会員)

【後援】神奈川県異業種グループ連絡会議(異グ連)

1. セミナー名称: 「公的補助金獲得の秘訣」・・・<お申し込みは別紙にて>

開催日時: 平成24年11月21日(水) 14:00~17:00

開催場所: かながわ県民活動サポートセンタ406会議室

講師: 松井利夫氏

2. セミナー名称: 「5S活動による職場改善」(仮称)

開催日時: 平成25年1月23日(水) 14:00~17:00

開催場所: かながわ労働プラザ第5会議室

講師: 加藤文男氏

受講料: 会場費・資料代  
含む。各セミナー参加費  
1,000円/回

3. セミナー名称: 「海外進出に伴うトラブル対策」(仮称) 講師: 山本俊夫氏

### <第134回・日韓ビジネス協議会>

高橋 導徳

1. 日時: 2012年11月21日(水) 午後3時00分~5時15分 協議会 ~6時15分 懇親会

2. 場所: 神奈川中小企業センタービル・・・5階会議室 かながわ異業種交流センター

3. 内容 ○会社紹介および「異グ連ニュース編集について」

ブルデンシヤル生命保険(株) コンサルティング・ライフプランナー 宗和正憲氏 (20分程度)

○ 産業技術センターでの出展状況の紹介および「神奈川 R&D 技術展示商談会 2012 in NISSAN」  
(有) 本田マシン 代表取締役 本田武士氏 (15分程度)

○ 「朝鮮半島情勢2012」・・・アジアニュースセンター東京支店  
KOREATODAY 記者 末廣 信氏 (20分程度)

○メイン講師: 「外国人技能実習制度について」  
公益財団法人国際人材育成機構 業務推進部 担当部長 大髭輝雄氏 (45分程度)  
要旨: 1) 外国人技能実習制度の発足と2010年の入管法改正について  
2) 外国人技能実習制度の目的及び基本理念について  
3) 団体監理型による外国人技能実習制度について

★「新事業・新技術支援フォーラム」は2011年度分に遡って皆様にご報告いたしております。

### 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称: 戦略会議)の経過報告(その4)

異グ連事務局 松井利夫

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称: 戦略会議)のレポート

第8回フォーラムは平成23年12月14日に開催。栗山氏より補助金と競合資金について次のような説明があった。補助金については、文部科学省には「国家基幹研究開発推進事業」の①原子力システム研究開発と②原子力基礎基盤研究イニシアティブの二つの補助金がある。①原子力システム研究開発は、原則4年で3000万円~3億円の補助金である。②原子力基礎基盤研究イニシアティブは、原則3年で1000万円~1億円で、H23年度は産総研、北海道大学など4社が採択された。

競合資金については、代表的なものに文部科学省系の日本学術振興協会が扱う「科学研究費助成事業」がある。毎年9月公募11月締切り。本事業の中に、研究者の自由な発想で申請できる枠があり、「機関指定」を受ければ、「原子力研究」で申請が可能となる。

第9回フォーラムは、平成24年1月26日に開催。議題1の「新成長戦略と予算対応の調査報告」を栗山氏から、議題2の「平成24年度神奈川県補助金報告」を村上氏からそれぞれ説明があった。

#### 議題1「新成長戦略と予算対応の調査報告」

(1)新成長戦略について・・・ステージ1：新成長戦略は菅内閣時代のH21.12に発表されたが人材体制不備もあって挫折した。ステージ2：H22.6の閣議で「新成長戦略－復活のシナリオ」を決定。内容は、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、アジア経済戦略など7項目。ステージ3は、H23.12開催の第5回「国家戦略会議」で、「日本再生の基本戦略(素案)－危機の克服とゼロからの挑戦」が首相の了承を得て成立。内容は、1章：危機の現状、2章：震災・原発からの復活、3章：経済成長と財政健全化の両立、4章：新成長の実行加速と強化再設計、5章：新たなフロンティアに向けて、の5章からなる。

(2)平成24年度予算対応について・・・基本的な考え方は、H24年度予算編成にあたっては、震災からの復旧・復興及び最近の過度な円高の影響による産業の空洞化等への迅速・着実に対応する観点から、「日本再生重点化措置」や「復旧・復興経費」を活用しつつ、23年度第3次補正予算及び第4次補正予算と24年度予算を一体的・連続的に実施。

#### 議題2「平成24年度神奈川県補助金報告」

受付期間はH24.2.13から2.24まで。補助額は、①新技術枠として100万円～800万円と②下請枠として100万円～400万円の2種がある。補助率は、いずれも1/2以内である。この他に、「新規テーマの追加」や「今後の運営」についての議題は時間の関係で次回に持ち越された。

オフィス架け橋  
行政書士 特定社会保険労務士  
松田 健

<http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhomu.aspx>

### 【 連載 その11 】

### 使い勝手のいい就業規則にするためのポイント

【 試用期間について 】  
会社が試用期間を設ける理由というのは、採用の選考を経て採用した従業員に、会社が期待する程度の知識・技能や自社組織への順応性・適格性といったものが具わっているかどうかをより正確に把握するためです。採用選考時のペーパーテストや面接だけでは、その人固有の属性や、能力といったものを十分に把握しきれないからです。つまりこの期間中に、従業員としての適格性がないという評価になったときには、会社はその従業員の本採用を拒否できるためのものです。  
試用期間の法的性格は、一般に「解雇権留付付き雇用契約」であるとされています(昭和四十八年三菱樹脂事件最高裁判決)。  
試用期間中の解雇の事例としては、出退勤状況の不良、勤務成績不良、能力・性格の業務不適格性、上司の指示・命令に従わない、健康状態不良、協調性がない、重大な経歴詐称をした、犯罪行為を行ったなど、会社の裁量が通常より多く認められています。したがって、自由に解雇できるわけではありません。  
解雇するには、合理的な理由があり、社会通念上相当と認められることが必要です。  
また、試用期間を定める場合は、雇用契約を結ぶ際に明示しなければなりません。  
**試用期間中の解雇については、最初の十四日以内であれば即時に解雇できますが、十四日を過ぎますと解雇予告が必要になります。**  
試用期間中の解雇といえども十分な注意が必要です。

## 産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	尾上町サロン	西湘サロン 第42回	三浦半島経済人サロン 第53回	神奈川新産学公交流 サロン横浜
日程	11月16日(金) 12月07日(金)	01月21日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	11月30日(金) 18:00~20:30 開場は17:30~	今月は企画会議の為ありません
場所	神奈川中小企業センター 5階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 (駐車場はありません)	神奈川新聞社 横須賀支 社5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 異グ連
連絡先	異グ連	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	原則第一・第三金曜日 (17:15~19:30)	「元企業戦士、今ボランティアで元気一杯」 榎野 浩一 氏 参加費:1,000円	「世界1周旅行者が泊まる宿とは」会計的視点で戦略をたてる。 那須川税理士事務所 公認会計士・税理士 高梨 喜裕 氏:1,000円	

## 事務局のコーナー

11月に入りました。徐々に寒さが増してきているものの本格的な寒さにはもう少し時間がかかるといったところでしょうか?ところで、街中ではマスクをした人達が増えてきました。そろそろインフルエンザなど風邪がはやりだす頃だと思います。しかし、不思議な事にこういったウイルス性の病気は極寒の地ではまん延することはありませんので風邪をひくこともないのだそうです。寒いからというわけではなくどうやら体調管理が一番重要だという事です。これから一気に気候の変化が起こります。皆さん体調管理には十分ご注意ください。

ではまた来月お目にかかりましょう。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつなげる「役立ち情報誌」となります。お気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail [masahito@ab.bb-east.ne.jp](mailto:masahito@ab.bb-east.ne.jp)



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤村田和彦 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①芝③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail [masahito@ab.bb-east.ne.jp](mailto:masahito@ab.bb-east.ne.jp) 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194